

2023年11月9日

## 『持続可能な食品物流構築に向けた共同の取り組み』が 「第53回食品産業技術功労賞（サステナビリティ部門）」を受賞

サミット株式会社は、2023年3月に首都圏で店舗展開するスーパーマーケット3社と共に「物流2024年問題」をはじめとする物流危機に対し、持続可能な食品物流構築に向けた具体的な取り組みを行う宣言と合わせ『首都圏SM物流研究会』を発足させました。

このたび、その取り組みが高く評価され「第53回食品産業技術功労賞（サステナビリティ部門）」（※）を受賞し、2023年11月7日に表彰式が行われました。

※「食品産業技術功労賞」とは、食品産業新聞社が食品産業の発展に著しく貢献した技術及び商品等を開発した企業・団体を顕彰するもの。全6部門（「商品・技術」「資材・機器・システム」「マーケティング」「国際」「サステナビリティ」「地域創生」）について食品業界に精通した専門家の厳正な選考によって受賞者を決定する。



表彰式の様子

### <取り組み概要>

2023年3月、株式会社マルエツ、株式会社ヤオコー、株式会社ライフコーポレーション、当社を含む4社にて、『首都圏SM物流研究会』を発足。2023年5月17日から株式会社カスミ、株式会社東急ストア、株式会社西友が参加し、10月18日からは株式会社いなげや、株式会社原信、株式会社ナルスが参加して合計10社となりました。

また、首都圏以外からの参加を踏まえ、全体会となる「SM物流研究会」とエリア部会の「首都圏SM物流研究会」の2部制に変更しました。

研究会では持続可能な食品物流に向け、以下4点に取り組んでいます。

- (1) 加工食品における定番商品の発注時間の見直し
- (2) 特売品・新商品における発注・納品リードタイムの確保
- (3) 納品期限の緩和（1/2ルールの採用）
- (4) 流通BMSによる業務効率化

詳細はこちら：

- ・持続可能な食品物流構築に向けた取り組み宣言

<https://www.summitstore.co.jp/news/pdf/20230316b.pdf>

- ・『首都圏SM物流研究会』の発足について

<https://www.summitstore.co.jp/news/pdf/20230316a.pdf>

以上